平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA(SeminarⅡA)			授業コード	E002409
担当教員名	工藤 順一			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	大分県内の金融機関や県庁や市役所にも行きたいと考えていますので、日頃から、できるだけ大分合同新聞等により大分の情報を得て下さい。				
受講心得	自分の夢や、将来の就職等の課題解決にゼミを活かすようにしてください。				
教科書	教科書は使用せず、いろいろな書籍や新聞の切抜きを配布します。				
参考文献及び指定図書	随時紹介します。				
関連科目	起業学・経営学入門・管理会計論・原価計算論、その他経営学全般				

授業の目的	工藤ゼミの目的・到達目標は次の通りです。 1. ビジネスに必要な教養知識や会計の基本的な知識を習得すること 2. 自己を表現できるプレゼン能力を育成すること なお、消防士や警察等の公務員志向の方や、「中小企業診断士」や「日商簿記検定」などの各種資格を目指している学生にも、勉強の方法等をアドバイスしていきます。
授業の概要	授業では、教員が用意したレジュメや参考文献を元に皆さんと一緒に検討します。課外活動として、大分県庁・大分市役所、ホルトホール等に赴き、公務員の方々や企業の経営者と意見交換を行い、少しずつ社会人になってほしいと思います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ゼミナールⅡの概要説明 ゼミ研究と就職活動の進め方について、概要を説明します。	配布資料 研究課題とその進め方
第 2 週 : 大分県の産業の概要説明(1) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第 3 週 : 大分県の産業の概要説明(2) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第 4 週 : 大分県の産業の概要説明(3) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第 5 週 : グループ研究(1) グループに分かれて、研究のテーマを選択します。研究テーマは、大分県の産業の中で研究のテーマとする業界について絞り込みます。その後、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第 6 週 : グループ研究(2) 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方

第 7 週 ： 外部講師との意見交換 県庁の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の産業全体について情報交換や意見交換を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第 8 週 ： グループ研究（3） 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第 9 週 ： 外部講師との意見交換 金融機関の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の金融業について情報交換や意見交換を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第10週： グループ研究（4） 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第11週： グループ研究（4） 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第12週： 研究発表（1） グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第13週： 研究発表（2） グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第14週： 研究発表（3） グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第15週： 総括 これまでの研究内容についての総括を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第16週： 期末試験 試験は行いません。研究発表をもって試験といたします。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループで活動しますが、役割分担を決めて分業しましょう。外部の講師も参加するので、積極的に質問や意見交換してください。
【知識・理解】	大分県の産業界を理解するための基礎的な知識を身につけてください。
【技能・表現・コミュニケーション】	業界の理解のためには、日商簿記等の資格を取得し、読み取れるようにしましょう。そのためには簿記検定3級の資格は取得しましょう。
【思考・判断・創造】	研究を進めるに当たり、どの分野の資料をどこで入手するかについてよく考え、判断して行動しましょう。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点	10点	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	研究内容については、毎回簡単なレポートにまとめていただきます。それらの提出をもって出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル：ほぼ満たしている。Bレベル：なんとか満たしている。Cレベル：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。